

平成 20 年 11 月 27 日

各 位

会 社 名 パナソニック株式会社  
(URL <http://panasonic.co.jp/>)  
(コード番号 6752 東証・大証・名証第一部)  
代表者名 取締役社長 大坪 文雄  
問合せ先 役員 財務・IRグループ  
グループ マネージャー 河井 英明  
(TEL 06-6908-1121)

## 連結通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 4 月 28 日の決算発表時に公表した、平成 21 年 3 月期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）の従来の連結通期業績予想を、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 連結 業績予想数値の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）（金額の単位：百万円）

	売 上 高	営業利益	税引前利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	9,200,000	560,000	500,000	310,000
今 回 修 正 予 想 (B)	8,500,000	340,000	100,000	30,000
増 減 額 (B-A)	△700,000	△220,000	△400,000	△280,000
増 減 率 (%)	△7.6%	△39.3%	△80.0%	△90.3%
(ご参考) 前 期 実 績	9,068,928	519,481	434,993	281,877

#### 2. 修正の理由

以下の理由により、連結通期業績予想を修正いたします。

米国発の金融危機が世界中に連鎖し、国内外における景況感が著しく悪化しているなか、当社を取り巻く経営環境も、想定をはるかに上回る円高や、国内外における消費の低迷、価格競争の激化等により、急激に悪化しております。加えて、株式市況の悪化による保有株式評価損や、構造改革等の実施が見込まれますので、連結通期業績予想を下方修正いたします。

<将来見通しに関するリスク情報>

※ 業績見通しは、現在入手可能な情報と、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は見通しと大きく異なることがあります。

その要因のうち、主なものは以下のとおりですが、これらに限られるものではありません。

かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、当社の有価証券報告書にも記載されていますのでご参照ください。

- ・ 主要市場（日本、欧米、中国およびアジア等）の経済状況および製品需給の急激な変動
- ・ 産業界・消費者の需要動向
- ・ ドル、ユーロ、人民元等の対円為替相場の大幅な変動
- ・ 急激な技術変化等による社会インフラの変動
- ・ 他企業との提携または M&A で期待どおりの成果を上げられない可能性
- ・ パナソニックグループが他企業と提携・協調する事業の動向
- ・ 多岐にわたる製品分野および地域において競争力を維持するパナソニックグループの能力
- ・ 製品やサービスに関する何らかの欠陥・瑕疵等により費用負担が生じる可能性
- ・ 第三者の特許その他の知的財産権を使用する上での制約
- ・ 諸外国による貿易・通商規制、労働・生産体制関連への規制等（直接・間接を問わない）
- ・ 保有する有価証券およびその他資産の時価や有形固定資産、のれんなどの長期性資産および繰延税金資産等の評価の変動、その他会計上の方針の変更
- ・ 地震等自然災害の発生、その他の事業活動に混乱を与える可能性のある要素

以 上